

第4章 まとめ

表 25 にオムニバス調査、郵送調査ごとの「覚せい剤を乱用している人を知っている」と答えた人数の性年齢別集計結果を示している。オムニバス調査の場合は、1,367人中 22名であり、割合の推定値は表 26 に書いているように約 1.6%となる。

知っている人 = 乱用者数

という仮定を用いれば、我が国における 20 歳以上の人口は約 1 億人であることから、約 160 万人が覚せい剤乱用者ということができると思われる。

ところで郵送の場合は、1,095 人中 67 人なので、割合の推定値は 6.1%、乱用者数は約 610 万人となり、非常に多い値となっている。なぜ、郵送調査でこのような値になったかは分からない。オムニバスと比べて回答者にゆっくり思い出す時間があったために、遠い昔の記憶がよみがえっただけかもしれない。表 27 に示すように、調査した 7 種類の薬物で、知っている乱用者が最も多い薬物は予想どおり「シンナー」であり、MDMA やヘロインは非常に少ない。この結果や他の回答結果から見ても回答者はまじめな態度で回答しているものと想像できることから、オムニバスと郵送との調査結果の隔たりについては、今後も調査を繰り返し、確認する必要がある。

図 1 は、表 26 に示したオムニバス調査による「覚せい剤使用者を知っている人」の割合の調査年月日別の変化をグラフで示したものである。縦棒は推定誤差を表している。このグラフからおおざっぱに言えることは、2%程度の人々が覚せい剤乱用者を知っているということであり、図 1 から分かるように、「覚せい剤使用者を知っている人」の割合はここ 4 年でほぼ一定であるので、この数値は最近の日本における覚せい剤乱用者数であると推定できる。我が国における 20 歳以上の人口は約 1 億人であるので、約 200 万人が覚せい剤乱用者数ということができると思われる。

本年はオムニバス調査において初めて「1 年未満」の期間内に覚せい剤を乱用した者を知っているかについて調査を行った。その結果は表 25 に示すように 1,367 人中 9 人が「知っている」と回答し、その割合の推定値は約 0.66%となるので、我が国の 20 歳以上の人口の 1 億人を乗ずると約 66 万人が「1 年未満」の期間内に覚せい剤を乱用した者の数値となる。

また、本年は覚せい剤以外の薬物についても調査を行ったが、その結果は表 28 に示すとおりである。これら 1 年未満の乱用者や他の薬物についての調査は、今後も継続して行う必要がある。

表28 乱用者を知っている人の割合(オムニバス)

	過去		1年未満	
	割合	人数(万人)	割合	人数(万人)
シンナー	2.78	278	0.66	66
大麻	0.88	88	0.29	29
MDMA	0.07	7	0	0
コカイン	0.07	7	0	0
向精神薬	0.22	22	0.07	7
覚せい剤	1.61	161	0.66	66
ヘロイン	0.07	7	0.07	7

注:人数は、割合に20歳以上人口10007万人をかけて求めた。

表25 オムニバス、郵送調査での知っている覚せい剤乱用者数の比較

	オムニバス				郵送			
	総数	1年未満	1年以上前	合計	総数	1年未満	1年以上前	合計
総数	1367	9	13	22	1095	9	58	67
男	634	6	6	12	501	6	32	38
20歳代	69	1	1	2	72	2	7	9
30歳代	90	1	0	1	81	1	8	9
40歳代	91	1	2	3	88	0	5	5
50歳代	115	2	1	3	106	3	6	9
60歳以上	269	1	2	3	154	0	6	6
女	733	3	7	10	594	3	26	29
20歳代	66	1	3	4	73	1	5	6
30歳代	117	2	1	3	103	1	5	6
40歳代	122	0	1	1	116	1	8	9
50歳代	155	0	1	1	107	0	5	5
60歳以上	273	0	1	1	195	0	3	3

(注)郵送調査において、知っている乱用者数は表14付1-2&3.3の不明を除いている。

表26 覚せい剤乱用者を知っている者の割合の比較

調査月	総数	人数	下限	推定値	上限
2001年郵送	1095	67	4.7	6.1	7.5
2001年12月	1367	22	0.9	1.6	2.3
2000年8月	1413	29	1.3	2.1	2.8
9月	1432	29	1.3	2.0	2.8
12月	1376	35	1.7	2.5	3.4
2000年合計	4221	93	1.8	2.2	2.6
1999年8月	1394	45	2.3	3.2	4.2
9月	1427	32	1.5	2.2	3.0
12月	1341	32	1.6	2.4	3.2
1999年合計	4162	109	2.1	2.6	3.1
1998年9月	1419	23	1.0	1.6	2.3
11月	1427	28	1.2	2.0	2.7
1998年合計	2846	51	1.3	1.8	2.3

表27 郵送調査においてシンナー、大麻等の薬物を乱用したことがある人を知っていると答えた者の数

	知っている過去に(時期を問わない)シンナー、大麻等を乱用した者の人数										
	該当者	1人	2人	3人	4人	5人	6~9人	10~19人	20人以上	不明	
シンナー	194	46	43	35	3	19	7	21	8	12	
大麻	52	23	11	5	1	5	1	5	0	1	
MDMA	11	8	2	1	0	0	0	0	0	0	
コカイン	12	7	1	1	0	1	0	1	0	1	
向精神薬	17	10	4	2	0	0	0	1	0	0	
覚せい剤	69	38	19	4	0	3	1	2	0	2	
ヘロイン	7	4	2	1	0	0	0	0	0	0	
		知っている一年以内にシンナー、大麻等を乱用した者の人数									
	該当者	1人	2人	3人	4人	5人	6~9人	10~19人	20人以上	不明	
シンナー	194	2	2	2	2	0	0	0	0	188	
大麻	52	0	2	2	1	0	0	0	0	49	
MDMA	11	0	1	1	1	0	0	0	0	9	
コカイン	12	1	0	0	0	0	0	0	0	11	
向精神薬	17	1	2	2	0	0	0	0	0	14	
覚せい剤	69	8	1	1	0	0	0	0	0	60	
ヘロイン	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	

(注) 不明の人数は調査票の該当個所が空欄であったもの的人数。過去の乱用者の場合は、記入がない場合は、詳細な回答を拒否したと考えられる。一年以内の乱用者の場合は、回答拒否の場合も考えられるが、ゼロと答えられていると考えることができる。

図1 覚せい剤乱用者を知っている人の割合の変化(縦棒の下の数字は割合から推定した乱用者数(単位:万人))

